

文化センター各館機能における検討項目について

1. 検討の進め方

令和5年5月2日「白井市文化センターのあり方に関する方針」及び令和7年8月26日から令和7年9月15日まで実施した市民アンケート結果を踏まえ、以下のとおり検討を進める。

機能は4館の運営協議会（文化会館、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館）との意見交換により「2. 各館の機能における検討項目について」のとおり検討項目として定めた。今後はサウンディング型市場調査により、民間企業との意見交換を実施して検討を進める。

なお、導入にあたっては、市の各種計画や財政状況、文化センター周辺の環境を十分に考慮して判断することとする。

2. 各館の機能における検討項目について

（1）文化会館

○大ホール

- ・舞台機構・舞台音響は、利用状況を考慮し現状維持に努める。また、機器更新にあたっては省エネ化等の検討
- ・映像設備は、利用状況を考慮し機器の省エネ化等の検討
- ・バリアフリー化（トイレや動線の改善等を含む）の検討
- ・その他

○中ホール

- ・音楽・ダンス等の練習、発表機能に係る検討
- ・舞台機構・舞台音響・映像設備は、利用状況を考慮し省エネ化等の検討
- ・床仕上げ変更及び天井・壁・床の防音防振化の検討
- ・可動間仕切りによる分割貸出の検討
- ・その他

○共通

- ・補聴システム導入の検討（参考：赤外線、磁気ループ、スマートグラス）
- ・その他

（2）図書館

- ・ICチップ装備とブックディテクションシステム導入によるセルフ貸出機・返却機・予約棚の設置と貸出前資料の施設内（共用スペースや他館）への持出サービスの展開の検討
- ・レイアウト変更に伴う蔵書数見直しと配架・閲覧スペース再編の検討
- ・魅力的な棚作成と展示コーナー・書庫の電動書架整備の検討
- ・バリアフリーに配慮したレイアウトの検討
- ・電子書籍導入の検討
- ・児童コーナー拡充の検討
- ・学習スペース再編の検討
- ・会話可能な場所と静かに読書できる場所の確保の検討
- ・その他

（３）郷土資料館

- ・既存スペースにおいて、必要な収蔵面積の確保の検討
- ・上記に伴う、展示室と収蔵庫の面積変更の検討
- ・デジタルアーカイブ化とデジタル展示の検討
- ・電気・照明・消火設備改善の検討
- ・展示室及び収蔵庫の温湿度管理改善の検討
- ・防犯カメラ導入の検討
- ・修補作業スペースの確保の検討
- ・その他

（４）プラネタリウム館

- ・投映機は、光学式プラネタリウムとデジタル式プラネタリウムを併用する。
機器の更新は、機器の性能やコスト等を考慮し、最適なものを検討する。
- ・音響設備は、現状維持に努め、省エネ化等の検討
- ・補聴システム導入の検討（参考：赤外線、磁気ループ、スマートグラス）
- ・座席の更新。座席数は市内小中学校普通教室２クラス分が視聴できる数とする。
（７５席程度）
- ・バリアフリーに配慮した座席等の検討（幼児用クッション、車いす対応等）
- ・プレミアムシートやペアシート、お座敷シート等設置の検討
- ・投映やイベント等がない際の一般貸出の検討
- ・その他

（５）施設全体（研修室（学習スペース）含む）

○全館共通機能

- ・全館 Wi-Fi 導入の検討
- ・デジタルサイネージ（電子公告、展示）設置の検討
- ・その他

○共用スペース、空きスペース等の有効活用

- ・１階図書館トイレ改善の検討（エントランス側から入れるように）
- ・図書館入口の改善（開放的にする）
- ・レストラン・カフェ又は飲食物等販売所設置の検討
- ・休憩スペース設置の検討
- ・コワーキングスペース設置の検討
- ・他行政機能導入の検討
- ・外部空間（前庭・中庭、駐車場からのアプローチ等）の改善、有効利用の検討
- ・案内表示の改善
- ・フリースペースの確保（大ホールや中ホール以外に、文化センターの関係団体が利用できるスペース）
- ・その他